

◆学力・学習状況調査から

《 6年生 国語科 》

全体の概要

- ・教科としての正答率は県平均と同程度です。
- ・知識・技能、思考・判断・表現の各分野別に見ても県平均と同程度です。

観点	分析結果・自校の課題	改善に向けた具体的取り組み
知識 ・ 技能	<p>○短答式（漢字の書き取り）の問題に課題が見られます。</p> <p>○同音異義語が聞く人に誤解を与える可能性に気付いているかを問う問題に関し、正答率は高いものの、県平均と比較したときにやや下回っています。</p>	<p>○作文や日記などの中で、日常的に既習の漢字を使うように指導をします。</p> <p>○授業や、自学等を通して、様々な同音異義語とその意味について指導をします。</p>
思考 ・ 判断 ・ 表現	<p>○記述式の問題に課題が見られます。</p> <p>○自分の考えをまとめて書くことに課題が見られます。</p> <p>○物語文の中で、描写を基に登場人物相互の関係を捉えることや、叙述をもとに人物像や物語の全体像を具体的に想像することに課題が見られます。</p>	<p>○条件付き作文の取り組みを継続していきます。</p> <p>○説明文において、筆者の考えや主張に対する自分の考えを書くような時間を、単元の最後に確保するように努めます。</p> <p>○物語文において、人物同士の関係が捉えやすくなるように、人物関係図にかくなどの活動を取り入れていきます。</p> <p>○物語の序盤に読み取りのスキルを教え、そのスキルを活用して後半には自分たちで読み取りができるように指導をしていきます。</p>

◆学力・学習状況調査から

《 6年生 算数科 》

全体の概要

- ・教科としての正答率は県平均と同程度です。
- ・知識・技能の分野は、県平均と同程度です。
- ・思考・判断・表現の分野は県平均をやや下回っています。

観点	分析結果・自校の課題	改善に向けた具体的取り組み
知識・技能	<p>○基礎的な知識や概念の理解の部分で間違いが多くありました。 (既習事項の理解)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・割合 ・比例 ・倍数約数 <p>○計算の技能とは別に、問題を読み解く力が必要です。</p>	<p>○授業時のミニテストや家庭学習を通して定期的な復習を行い、既習事項の定着を図ります。</p> <p>○問題文の求答のために必要な事項に印をつけて、情報を整理します。 ○問題の内容や数量の関係を関係図や数直線に置き換えてとらえさせます。</p>
思考・判断・表現	<p>○問題の中にある条件項目を達成することができていません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「〇〇の説明をもとにして」 ・「式や言葉を使って」 <p>○1つの問題の中で、様々な学習内容を組み合わせることで問題への対応ができていません。</p> <p>○プログラミングと関わりのある問題に課題が見られます。</p>	<p>○問題文の中の「条件」を示す部分に印をつける習慣をつけたいと思います。 ○授業の中で立式するだけでなく、図や表、数直線、言葉の説明などを用いて、思考の流れをノートに書くように指導していきます。</p> <p>○「まず」「次に」「そして」などの思考を明確にしていきます。 ○多角的な視点を持つために、友達の考えを説明させるなど、自分と違う考えも深めさせたいと思います。 ○自学や宿題等で、既習事項を組み合わせることで総合的に考えて解く問題に繰り返し取り組ませます。</p> <p>○プログラミングに関する年間計画を基に、算数科だけではなく各教科等において、目標を達成するために必要な事項を考え、それらを組み合わせる活動を増やし、プログラミング的思考力を高めます。</p>

◆学力・学習状況調査から

《 6年生 理科 》

全体の概要

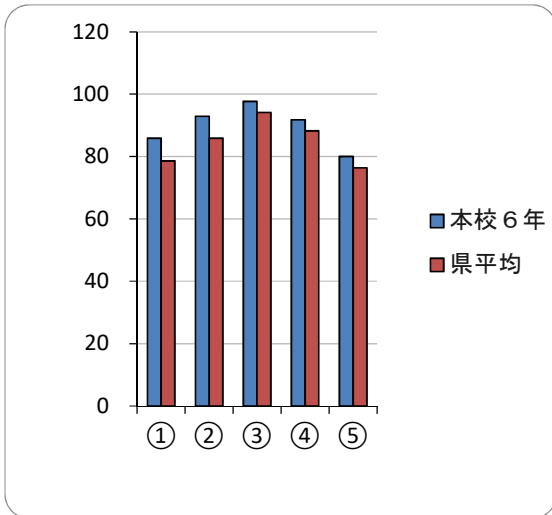
- ・教科としての正答率は県平均と同程度です。
- ・知識・技能の分野は、県平均と同程度です。
- ・思考・判断・表現の分野は県平均と同程度です。

観点	分析結果・自校の課題	改善に向けた具体的取り組み
知識・技能	<p>○実験の結果を元に、まとめを検討することができています。</p> <p>○器具の名称を覚えることができていません。</p> <p>○問題文に示された実験からどのような結果が得られるのかを読み取ることができていません。</p>	<p>○まとめを検討する取り組みをこれからも続けます。</p> <p>○実験の前に器具の名称を確認したり、復習プリントに取り組みせたりして、正確に覚えさせるようにします。</p> <p>○問題文をしっかりと読んで答えるような習慣を身につけさせるとともに、理科の授業では、実験の目的を考えて、必要な観察、記録をするようにさせます。</p>
思考・判断・表現	<p>○冬の天気と気温の変化を表す4つのグラフを比較して、グラフを分析、解釈することができています。</p> <p>○実験で出た結果を自分の言葉で書き表すことができていません。</p> <p>○条件を使って、考えを書くことが身につけていません。</p>	<p>○複数のグラフを比較し、問題の把握や既習の内容や日頃の生活経験との関係付けをこれからも行います。</p> <p>○実験結果についての話し合いを基に、自分のことばで書く活動を増やします。</p> <p>○実験の考察や学習のまとめの場面で、本時で学習したキーワードを示して、自分で記述させるようにします。</p>

《6年意識調査》

【数値が特に高かった項目】

調査の項目	
①	理科の勉強は好きですか
②	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。
③	朝食を毎日食べていますか。
③	理科の授業の内容はよくわかりますか。
③	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。



【分析と取組】

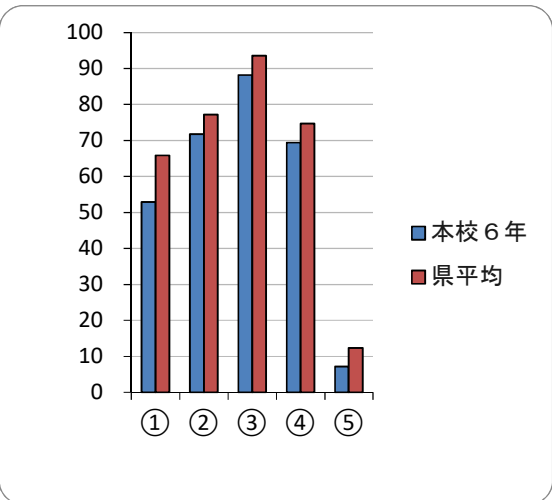
・理科の学習が好きで、授業の内容も理解していることが分かります。理科の学習と関連付けて読んだり、書いたり、話し合ったりする活動を通して他教科の力を伸ばしていけるのではないかと思います。

・朝食を毎日食べることができているので、規則正しい生活を送ることができたり、元気な毎日を送ったりすることに繋がります。継続して取り組めるように声かけをしていきます。

・大人との信頼関係を結べるようになってきたことが、教師が認めてくれているという自尊心に繋がっているのではないかと思います。子どもたちにあった出番や役割を準備し、頑張りを認めていけるようにしたいと考えます。

【数値が特に低かった項目】

調査の項目	
①	自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがありますか。
②	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。
③	国語の勉強は大切だと思いますか。
④	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。
⑤	新聞を読んでいますか。



【分析と取組】

・継続して観察をする活動に苦手意識があるようです。物事をじっくり継続的に観察し、考える活動を繰り返して成功体験を身に付けさせていきたいと思えます。1人1台端末も有効に活用していきたいと思えます。

・今、学んでいることが将来の学習や生活のベースになるということを、短期的ではなく長期的に捉えられるようにキャリア教育の視点からも理解させていきます。